



なかのあきのぶ
中野 哲伸
空のひばり会



地域クラブの考え方は

従来の学校管理下になる部活動を引き継ぐものではない

部活動の地域展開について

問 地域クラブの考え方は。

答 中学生が休日も活動できる場として、令和7年9月から田原方式による地域クラブの活動を開始する。この地域クラブは、従来の学校管理下になる部活動を引き継ぐものではなく、新たに生徒が各自で自由に休日の過ごし方を選択できるようにするため、学校外での活動を希望する生徒に対して休日の活動の受け皿となる地域クラブを設置し、生徒がより豊かな生活を通じて、自らの成長や新たな可能性を発見できる場となるよう取り組み内容を考えている。

問 生徒への配慮については。

答 特別な支援を必要とする生徒の参加希望に対しては、保護者をはじめ、学校の担任や特別支援教育コーディネーター、地域クラブの代表者などが一緒になって生徒にとって最善策を協議する必要がある。また、地域クラブの指導者については、年間2回の研修を受け、生徒の発達段階や多様性などについても学んでもらう。

問 想定しているクラブや団体は。

答 学校施設開放団体として活動するスポーツ団体、吹奏楽や演劇、クラシックバレエ等の団体や、市内で活躍しているサークル活動など、新たな分野で生涯学習にもつながる活動を想定している。

問 9月の開始に向けて生徒や保護者、市民にどのようなスケジュールで周知していくのか。

答 学校の夏休み中に各学校を通じて地域クラブの目的や方向性、活動内容等について情報発信していく。また、当面の間は、市ホームページに地域クラブの紹介ページを設け、各クラブの活動内容や参加方法、参加費等を掲載し周知を図っていききたい。



問

高齢者の多様なニーズに対応できる新たな活動の場の創出や、社会貢献活動への参加を促進するための仕組み作りについて、具体的な施策は。

答 新たな活動の場の創出については、サロンや介護予防教室等を開催し、さまざまな活動の場を提供していく。また、蔵王地区をモデル地区としてワーキング会議を開催することで、地域と行政が一緒になり地域ニーズを把握し、新たな活動の場の創出を含めた取り組みを検討している。加えて、シルバー人材センターへの支援を通じて就業機会の提供や、高齢者の経験や技能を生かせる場を創出していく。社会貢献活動への参加を促すための仕組み作りとしては、福祉有償運送認定講習会、防災ボランティア養成講座のような、地域課題の解決に意欲のある方が主体的に取り組むことができる講習会や講座等を開催することで、地域や社会と関われるきっかけを提供していく施策を進めていきたい。

